

# 村松研究室

## [東日本大震災を記録する ー建築史と災害ー]

総合地球環学研究所 生産技術研究所

<http://www.shinlab.iis.u-tokyo.ac.jp/>

専門分野: 建築・都市史、都市遺産・資産開発学

建築学専攻

### 0. 研究概要

Research Outline

村松研究室は、東日本大震災により三陸沿岸地域のなかでも最大規模の被害を受けた岩手県大槌町を対象に、震災後様々な研究活動を展開しています。本展示では、その成果の一部を紹介します。



### 1. 震災前の大槌町を読み解く

Elucidating the historical urban layers of Ootsuchi before the Earthquake

明治以降の三度の津波による被害とその後の復興を含む過去の災害記録や古地図等から、大槌町の都市形成史を読み解きます。

1896年6月15日  
明治三陸津波

1933年3月3日  
昭和三陸津波

1960年5月24日  
チリ地震津波

#### ①津波碑調査



今回被災した津波碑を含め、町内の津波碑全10基の記録から、過去の災害の記憶を読み解きます。

#### ②都市形成史研究



過去の津波による被害とそこからの復興を含む大槌町の近現代の都市形成史を読み解きます。

### 2. 震災後の大槌町を記録する

Recording the present situation in Ootsuchi after the Tohoku Region Pacific Coast Earthquake

東日本大震災により三陸沿岸地域のなかでも最大規模の被害を受けた岩手県大槌町を約三ヶ月ごとに訪問し、被災状況や復興過程等のまちの現況を様々な形で記録しています。

2011年3月11日  
東日本大震災

2011年9月24日・25日  
小槌神社例大祭

2012年3月11日  
震災一周年

#### ③定点観測



震災前後の町の風景を定点撮影した写真により、町の変化や復興の過程を読み解きます。

#### ④小槌神社例大祭の記録



震災後に開催された小槌神社例大祭の様子と関係者へのインタビューの記録映像を上映します。

#### ⑤浅川敏氏による写真展示



写真家浅川敏氏による被災後の大槌町内の風景を撮影した写真を展示します。